とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	7月下旬～8月上旬
クラス名（年齢）	ばら組　（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

かぶと虫の観察をしよう！

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・昨年度の年長児クラスから引き継ぎ観察をしていたかぶと虫の幼虫が成虫になり姿を表すと大喜びの子ども達。どれが大きい？オスとメスの違いは？など疑問があがった。

2、活動スケジュール

・かぶと虫の観察をする。
・かぶと虫に触れたり重さを量ってみる。
・好きな色の折り紙でかぶと虫を折って飾る。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

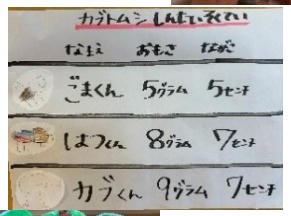
・クラスで飼っているかぶと虫はいつも観察できるところに置く。
・図鑑を手の届くところに用意しておく。
・はかり、折り紙、みんなで作った木を用意しておく。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・成虫になったかぶと虫を観察して色や大きさなどの違いに気づき、実際に持ったり量ったりして違いや重さ比べなどを楽しむ。
・観察したかぶと虫を折り紙で作り、みんなで飾って保護者にも見てもらう。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・今まで見えなかった幼虫が成虫になって土の上に現れると「出てきてる！」「これかぶと虫？」「オス？メス？」「あっちのかぶと虫の方が大きいんじゃない？」など興味津々に見ていた。 ・目の前のかぶと虫と図鑑の写真を比べながら「これに載ってるやつかなぁ？」「これはちょっと違うね」と同じかぶと虫はどれか調べ始めた。 ・「どれが一番大きくて重たいかなぁ？」「あっちかな」「こっちの方が大きいよ」と話が出たので量ってみることにした。保育者が表にすると「9…グラム？」「5より大きいから重たいんだよね」と子ども同士で話していた。 ・「この色で作りたい」「ここに角あるよね」と保育者に教わりながら折り紙でかぶと虫を折りみんなで作った木に貼ると「ママに見せる」「私も」と楽しんでいた。	 

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・４月に昨年度の年長児クラスから引き継いだかぶと虫の幼虫を「どこにいるのかなぁ？」「全然見えないね」と日々気にかけていたので、成虫になり姿が見えた時の喜びを味わうことができて良かった。観察する中で大きさや重さの違いに気づき、量ったり比べることで数字への関心、図鑑の活用などを子どもから考え行う姿を見ることができた。今まで関心がなかった子どもも興味を持ち観察したり触れてみようとしたり、折り紙を折って飾り楽しめて良かった。